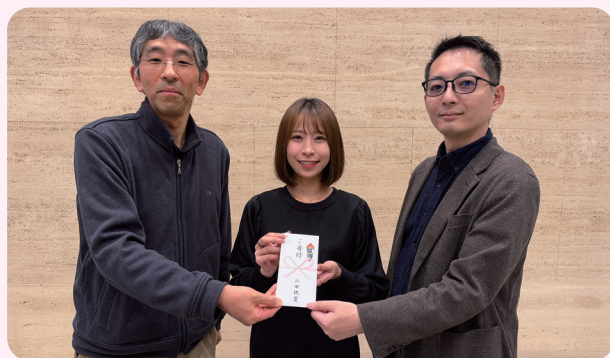


## 山田桃愛選手より、ご寄付をいただきました



日本代表に選ばれた山田桃愛選手



寄付を受け取る小林代表（左）と河田副代表（右）

しまむら女子陸上競技部に所属し、慢性骨髄性白血病（CML）であることを公表して活動されている山田<sup>ももあ</sup>桃愛選手が、今年（2026年）1月10日に米国で開催された「世界クロスカントリー選手権」の男女混合リレーに日本代表として出場されました。



米国での競技中の山田選手

### ■ 困難を乗り越えた歩み

山田さんは小学6年生の時にCMLと診断されました。当時は大腿骨頭壊死も併発し、一時は車椅子生活を余儀なくされましたが、「身体を動かすこと」を諦めませんでした。服薬治療を続けながら高校から陸上を再開し、現在は無治療寛解（TFR）を維持されています。

### ■ いずみの会へのご寄付

帰国後、山田さんより、選手としての社会的活動で得られた謝金の一部を「いずみの会」へご寄付いただきました。当会の代表・小林と副代表・河田が直接お受け取りし、深く感謝をお伝えしました。

CMLの治療がいかに険しい道のりであるか、同じ患者である私たちは痛いほど理解しています。その日々を乗り越え、世界の舞台で輝く山田さんの姿は、私たちに大きな勇気を与えてくれます。

いずみの会はこれからも、皆様とともに山田桃愛さんの挑戦を全力で応援してまいります。